

復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路

事業だより

Ⅱ期(中田工区)・Ⅲ期(佐沼工区)

第2号

平成29年1月5日

発行元：東部土木事務所
登米地域事務所
道路建設第二班

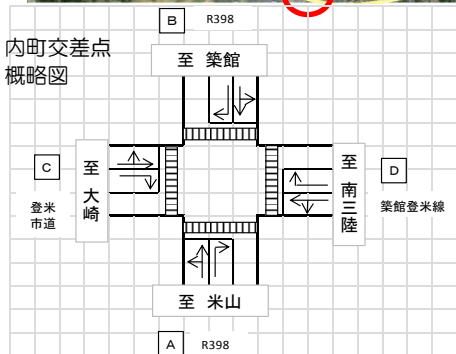
1. はじめに

県民の皆様へ「みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期及びⅢ期事業」に関する最新の情報をお届けするため、事業だよりを発行したものであり、今回が第2号となります。第1号に引き続き、みやぎ県北高速幹線道路の「整備効果（安全・アクセス向上）」に関する情報をお届けいたします。

2. 整備効果（安全・アクセス向上）

(1) 交通渋滞の緩和・交通事故の軽減

みやぎ県北高速幹線道路の整備により、市街地を通過する交通は減少すると考えられ、交通渋滞の緩和が期待されます。また、通過交通の減少により、市街地の交通量が低減され、交通事故の削減が期待されます。



内町交差点 B方向 (国) 398号



内町交差点 D方向 (主) 築館登米線

(2) 救急医療の支援

「みやぎ県北高速幹線道路」の整備により、登米地域の中心である市役所から、第三次救急医療機関である「石巻赤十字病院」までの所要時間は、現在の約60分から約43分に短縮されます。Ⅳ期（築館工区）の整備により、登米市民病院から栗原中央病院間の所要時間は現在の約28分から約24分に4分短縮されます。このように一刻を争う救急搬送にとって大変大きな効果が期待できると考えられます。

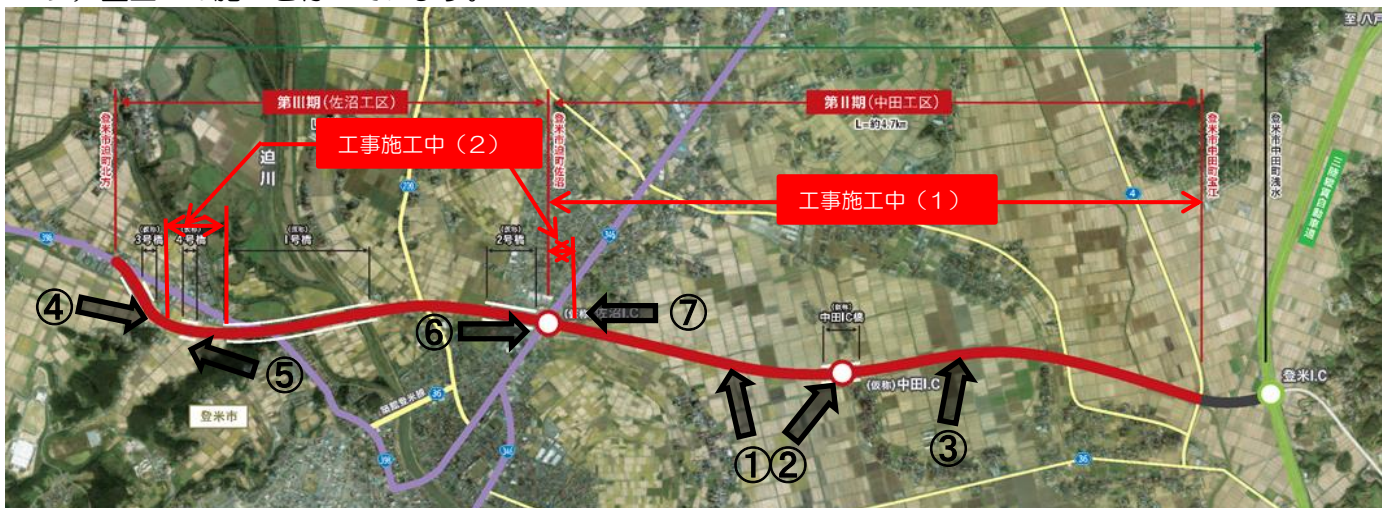
(3) 防災道路ネットワークの構築

東日本大震災では、沿岸部の高速道路が救助救援活動や緊急物資輸送などにおいて大きく貢献し、「命の道」として重要な役割を果たしました。沿岸部と内陸部を結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」の整備により、有事の際に三陸縦貫自動車道に迅速かつ確実にアクセス可能となり、災害対応に大きな効果を発揮することが期待できます。

3. 工事の施工状況



現在、Ⅱ期（中田工区）では、盛土工及び函渠工，中田IC部の橋梁下部工の施工を行っています。盛土工は、総土量約46万m³のうち約32万m³が完了し、函渠工は、14箇所のうち3箇所が施工完了しています。また、Ⅲ期（佐沼工区）では、軟弱地盤対策工の深層混合処理及びプラスチックボードドレーン、盛土工の施工を行っています。



(1) Ⅱ期（中田工区）の施工状況



5号函渠施工状況



(仮)中田IC 橋台施工状況



9号函渠の施工状況

(2) Ⅲ期（佐沼工区）の施工状況



国道398号付近の地盤改良状況



国道398号付近の地盤改良状況



(仮)佐沼IC本線付近の盛土状況

4. 工事中のお願い

工事を行う地区においては、通行規制、騒音及び振動等により周辺住民の皆様にご迷惑をおかけいたしますが、施工業者と常に連絡をとりながら、最小限になるよう努めてまいります。なお、事業内容などで不明な点、または、行政に対するご意見・要望などがあれば、事務所にご連絡ください。

お問い合わせはこちらまで

宮城県東部土木事務所登米地域事務所 道路建設第二班

〒987-0511

宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話：0220-22-5115

E-mail: et-tmdbkk2@pref.miyagi.jp

